

中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・中部日本研修センター会報

第307号

令和2年12月号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470-0328 豊田市勘八町勘八27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103

E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



故 中野良子総裁を偲ぶ会

故中野総裁は、46年の長きに亘り、オイスカのトップを務められ、オイスカを代表する会長として、さらにはオイスカインターナショナルの総裁の勤めも果たされました。

オイスカは人類生存の基盤を、あらゆる違いを乗り越えて共存するに置き、世界平和を目指してその活動を行っております。昭和49年(1974年)創始者の意思を継承されているオイスカの第二代会長への就任であり、またオイスカ創立13年目にあたる草創期の時代でありました。昭和44年に当時のオイスカ岡崎研修センターを訪問した時のことを今でもはっきり覚えております。開所2年目の研修センターには合計8台の車がありました。公用車とトラックが各1台在り、その他は個人所有車で保険も車検代も個人負担でありました。また無給である時代がしばらく続きました。

四十数年間オイスカのトップの立場におられ職員一人一人の働きや性格をよくわかっておられました。また全国の会員、役員の皆様、海外の支援者や各国の要人の方々などと幅広く交流され、オイスカを代表する中野総裁でなければわからないオイスカの全体像があるように思われます。

中野総裁を偲ぶ会開催にあたりご理解をいただきました光岡会長をはじめ役員の皆様方、当日ご参加賜りました多くの会員の皆様、ご逝去に心をお寄せ下さったすべての方々に、心からお礼申し上げます。

村松 明(筆)



コラム

その2 オイスカミャンマー研修センター

国連開発支援局からの共同プロジェクトが始まる

環境条件が厳しく、だれからも無謀と思われたミャンマー研修センターの建設から20年がたち、マンダレー地区に第二オイスカ研修センターが2017年に設立されました。実に快挙でありました。

研修センターがあります中央乾燥地帯は雨が少なく、土地がやせているうえに、現在もこの地帯にはほとんど灌漑が行き届いておらず貧困農村の多い地帯です。乾季には一滴の雨も降らない過酷なこの地で、稲作を中心とした有機農業の普及と人材育成に取り組むことを、1996年から始めました。一番問題であった水の確保のために灌漑水路を作ることができました。そして収入の少ないこの地方は化成肥料を使わず有機肥料を生産し、有機農業を普及することが最適なことでした。

これは国連との共同事業であり、国連開発支援管理局よりの配給物資支援の拠点としてのオイスカミャンマー研修センターでありますので地元・農村での信頼も高まってゆくものと思われれます。

外務省の日本NGO支援無償資金を受け、オイスカミャンマー研修センター内には食品加工工場があり、食品加工を通じて、貧困の削減・農村女性の経済的な自立に向けての取り組みも行っております。

いくつもの好条件が重なり自活できるミャンマー研修センターに成長してきました。極貧地帯でありましたが、村民が勤勉で誠実であったことと、企業からの協力も得られて第二オイスカミャンマー研修センターの増設の実現となりました。

オイスカ愛知県支部事務局長 村松 明

研修旅行に行ってきました



11月23日～27日の4泊5日の日程で、農業研修生3名が研修旅行へ出かけました。コロナの影響で、センターのイベント・事業がほぼすべて中止になる中、帰国前の研修生にとって、日本文化・歴史を理解する貴重な機会となりました。

雲辺寺の見学もしました。広島では、広島県支部のご支援ご協力により、平和祈念資料館見学、ボランティアの立花氏による原爆投下の当時の状況など詳しくお話を聴かせていただきました。また、広島城・厳島神社・大和ミュージアムを見学、京都では清水寺・銀閣寺等を見学し、充実した旅行となりました。ご協力・ご支援いただいた四国センター・広島県支部様に感謝します。

表と交流会に参加、また研修生のアクションプラン発表の機会がありました。

小杉裕一郎(筆)



研修生その後の活動（その3）

Nasese Joseva Vurabere (ジョー、フィジー) 2015年入国農業一般研修生
皆様お久しぶりです。フィジーのジョーです。日本ではお世話になりました。

日本での1年間では土壌管理や野菜栽培だけでなく時間管理やリーダーシップなどたくさんのことを学びました。今は自分の村に戻り、日本で発表したアクションプランを実行しています。そのほかにオイスカのマングローブ植林、サンゴ増殖プロジェクトの運営も手伝っています。

村の青年たちを指導しながら畑で一緒に汗を流すことは、私の最大の喜びです。5か年計画として、野菜（短期間での収入）とカバ栽培（5,6年後を越した収入）を合わせて、良い農場管理者になれるよう努力を続けています。もし短期の日本での研修があればぜひ参加したいです。古い知識の確認と新しい情報のインプットは必要なことだと思っています。

今はコロナで大変な時ですがまた会える日まで、それぞれのところでベストを尽くしましょう！

*カバとは胡椒科の植物で、その根っこを乾かしてなめし、それを水でしごいて飲む、フィジーの伝統的な飲み物です。



カバの畑で



トマトの大収穫



植林プロジェクト

上鷹見小学校交流会

10月27日(火)上鷹見小学校の2年生9人と研修生が交流会をしました！フィジーから来たメレさんより子ども達へウェルカムフラワーのプレゼントでお出迎え。その後は国の紹介をしたり、一緒にフィジーダンスを踊ったり、初めて知る外国のお話子ども達は「うわー！」「すごーい！」と目を輝かせ、興味津々に話を聞いていました。その後は子ども達が日本の昔遊びを研修生達に教えてくれました。けん玉やお手玉、コマなど、研修生は初めて見るおもちゃで、子ども達と一緒に楽しく遊んでいました。研修生にとっても、子ども達にとっても素敵な時間となりました。

中村 仁美 (筆)



技能研修生第2陣入国

11月4日(水)マレーシアの技能実習生6名が入国致しました。

秋田ダイハツ販売㈱【自動車整備 2名】、(有)清明エンジニアリング【冷凍空気調和機器施工 2名】、(有)フジ設備【冷凍空気調和機器施工 2名】で実習予定です。

中村 仁美(筆)



交通安全講習の様子

11月研修生の活動 筑田 明生 (筆)



ブロッコリーの収穫。暖かい日が続き、良く育ちました。



大根、カブの収穫。



香嵐溪に連れて行って頂きました。



研修旅行で、香川→広島→京都に行って来ました。

ベトナム技能実習生基礎研修修了式

11月16日(月)ベトナムの技能実習生6名(介護)の修了式が執り行われました。

入国後2週間の隔離期間中はオンラインで授業を行うなど、工夫して研修を行いました。センターとしても初めての事で、試行錯誤の毎日でしたが、無事基礎研修を終えることが出来て、良かったです。

明るく元気な6名です。3年間しっかり日本の介護を勉強し帰国後は国の為に貢献してもらいたいです!



中村 仁美(筆)

オイスカ支援連携サミット シンポジウムの「延期」

12月12日(土)に予定されておりましたオイスカ支援サミット・シンポジウムは、コロナ感染第3波の影響で全国的に感染者が増加していることを受けて、開催を見送ることになりました。

シンポジウムは、来年度の60周年記念行事の一環として来年7月に実施する方向で調整してまいります。

来年度の開催時には、ご参加とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

小杉 裕一郎

更新会員名簿(6名)

- 安城(59/75) あいち中央農業協同組合
奥三河(4/7) 権田まゆみ
刈谷(30/42) 吉川久喜子
豊田(195/251) 佐久間由隆、鈴木昌、磯村昌子、谷口隆
名古屋(49/60) 西野拓史郎、株式会社魚津社寺工務店、名港海運 株式会社、愛知ダイハツ 株式会社、鬼頭恒子、芳川 猛、河邊薫子、熱田神宮宮庁、株式会社 デンソー、豊田合成 株式会社、名古屋鉄道 株式会社、株式会社 八幡ねじ
名古屋(10/18) 神野博史
丹羽(52/62) 株式会社 美乃寿司、有限会社 市川豊インテリア

更新会員名簿(続き)

- センター(29/44) 鈴木良子、沢田美智子、渡会一昭、青山省三、吉村淳子、萩原長治、佐藤一志、森 文典、社会福祉法人 愛光園、市脇公平、東海漬物 株式会社、永井祥一

寄付金

- 河合秀豊(市)
中部電力ミライズ(株)(東京都港区)
リネットジャパングループ 株式会社(大府市)
富田司(常滑市)
グレゴリー・エイヤユ(豊田市)
川原峰子(豊田市)
山口朝子(日進市)
新入会(個人)
吉川久喜子(名古屋)

寄付品

- 中塚隆志(長野県)
下越戸まちづくり協議会(豊田市)
明保澄雄(岡崎市)
加藤みつ子(豊田市)
田中たかね(豊田市)
松石裕就(名古屋)
吉田畜産(田原市)
竹中造園土木株式会社(碧南市)
小林ひろみ(岡崎市)
酒向慎(豊田市)
石川美津枝(安城市)
市脇公平(大府市)
酒向淳治(豊田市)
信濃屋豆腐店(豊田市)
鈴木康子(豊田市)
オイスカ西日本研修センター(福岡県)
オイスカ四国研修センター(香川県)

インクカートリッジ

- 有限会社都築仏壇店(額田郡幸田町)
三浦隆敏(安城市)
中村さと子(高浜市)
ボーイスカウト愛知県第39団(豊田市)

ベルマーク

廣瀬純子(マレーシア)

書き損じはがき

三浦隆敏(安城市)

オイスカ卵の販売

- ・遺伝子組み換えでない
- ・トウモロコシを餌に使用
- ・平飼いの鶏から産まれた
- 新鮮たまごをお届けします
- 6個入りパック 240円
- 10個入りパック 400円

令和2年は心からのご支援を頂き、本当にありがとうございました。
来年も引き続き、ご協力よろしくお願致します。